

浜松医科大学医学部付属病院では、
受診時に患者さんから得られた試料や診療情報等を使用して
下記の臨床研究を行っています。

下記臨床研究は「東海大学医学部 臨床研究審査委員会」および「浜松医科大学 生命科学・医学系研究倫理委員会」にて病院長、研究機関の長の承認を得て実施しています。

当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化处理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】

「本邦における子宮体癌に対する低侵襲手術(MIS)の実態調査」

【研究の目的】

下記の試料・診療情報等を利用し、本邦における腹腔鏡下子宮体癌手術の実態について
解明することを目的としています。

【研究の対象となる方】

2015年1月1日 から 2017年12月31日 までの間に、
本邦の日本産婦人科学会悪性腫瘍登録施設で子宮体癌についての手術を受けられた方です。

【利用期間（研究実施期間）】

研究機関の長による実施許可日 から 2024年3月31日 まで

【研究に用いる試料・診療情報等の項目】

- ・試料：日本産婦人科学会悪性腫瘍登録データベース及び日本産婦人科学会悪性腫瘍登録施設から提供される診療情報
- ・診療情報等：診断名，年齢，手術日，術式，組織型，病期，生存状況など

【利益相反に関する事項】

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

【問い合わせ先】

浜松医科大学医学部付属病院 （電話：代表 053-435-2111）

研究責任者 周産母子センター 伊藤 敏谷

問い合わせ担当者 周産母子センター 伊藤 敏谷